

岐阜市民会館のこれまでとこれから II

—DOCOMOMO Japan認定プレートの贈呈と祝賀記念の会—

岐阜出身の建築家・坂倉準三が設計した岐阜市民会館（1967年竣工）がDOCOMOMO Japanの選定建築に選定されました。岐阜市民会館では、この55年間で様々なイベントや展覧会・会議が開催され、県民・市民の記憶の一つになっています。海外では、建物が大切に使われ、まちと市民の記憶として活用されています。この市民会館も価値あるモダニズム建築として選ばれたのを機会に、今後もどのように使い続けていくか、日本や海外の事例とも比較しながら考える機会として開催します。当日は、認定プレート贈呈式の後、3月末に大ホールの天井改修工事が完了するなど、常に更新されている市民会館の概要を改めて説明、建物見学会を実施します。その後、2022年11月に開催したイベントへのアンケートやご質問に回答すると共に、参加者の皆さまと市民会館の魅力を共有し、今後の利用について意見交換を行いたいと考えています。建築に興味がある方もそうでない方も、岐阜市民会館をよく利用される方もそうでない方も、是非気軽にご参加いただき、皆様の声をお聞かせください。

2023年6月11日（日）13時30分～（受付13時開始）

会場 岐阜市民会館 会議室80（岐阜市美江寺町2-6）

会費（資料代+記念品） 一般1,000円、学生500円

13:30～13:50 開会挨拶、認定プレート贈呈式、市長代理挨拶 など

14:00～14:30 建物概要説明 渡邊研司*、鯉坂徹**

14:30～15:15 建物見学会 謡口志保***、鯉坂徹**、清水隆宏****

15:20～16:30 市民懇談会（前回アンケートへの回答、意見交換）
司会進行 清水隆宏****

主催：DOCOMOMO Japan

：坂倉準三の建築を考える会 in 岐阜

後援：岐阜市



DOCOMOMO Japan 選定建築：一般社団法人DOCOMOMO Japanはこれまでに、国内のすぐれた20世紀のモダニズム建築を264作品選定しています。DOCOMOMO Japanは世界70ヶ国で、近現代建築の保存や記録に取り組んでいる組織の日本支部です。岐阜県内では旧羽島市庁舎が2005年にDOCOMOMO Japan選定建物となっています。

*DOCOMOMO Japan 代表理事 **DOCOMOMO Japan 副代表理事

DOCOMOMO Japan / ウタグチシホ建築アトリエ *坂倉準三の建築を考える会 in 岐阜 / 愛知工業大学